

## 1. 管理画面へのログイン方法

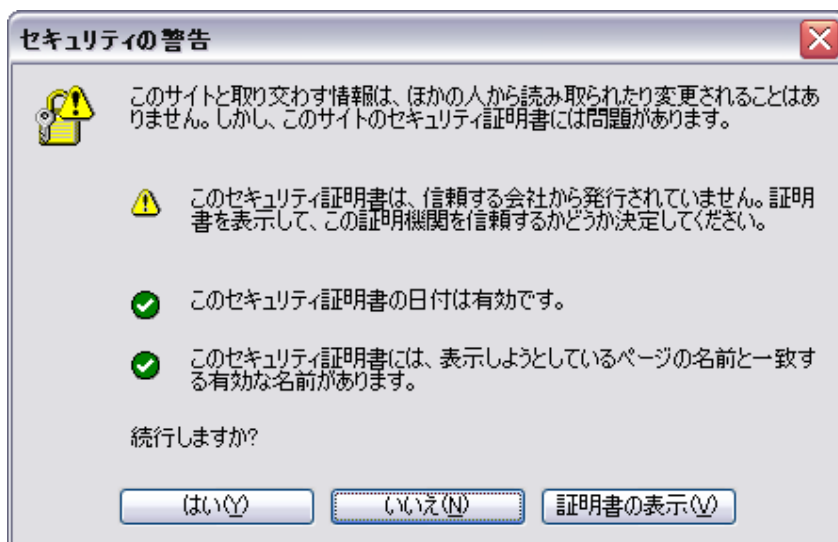
管理画面（HDE Controller 5.0）へアクセス方法は、下記になります。

### 1-1/ 管理画面へのアクセス方法

ウェブブラウザにて、下記のように指定します。

https://ドメイン名または IP アドレス:16590/

※ 以下のような画面が表示されますが、暗号化による接続には問題ありませんので、そのまま「はい」をクリックして次へ進みます。



### 1-2/ ログイン方法

アクセスをすると、下記ログインダイアログが表示されます。

ログインを行うユーザー名とパスワードを指定し、ログインを行ってください。



ユーザー名	パスワード	詳細
root	初期状態では、サーバー設定完了通知に記載がある仮発行パスワードになります。	全ての管理権限を有します。
ladmin	初期状態では、サーバー設定完了通知に記載がある仮発行パスワードになります。	HDE Controller 全体を管理する権限を有します。
admin@ ドメイン名	バーチャルドメイン追加時に、admin へ割り当てられたパスワードになります。	バーチャルドメインの管理者権限になります。バーチャルドメインにおいて、ユーザーおよびシステムの管理を行うことができます。

## 2. バーチャルドメイン追加方法

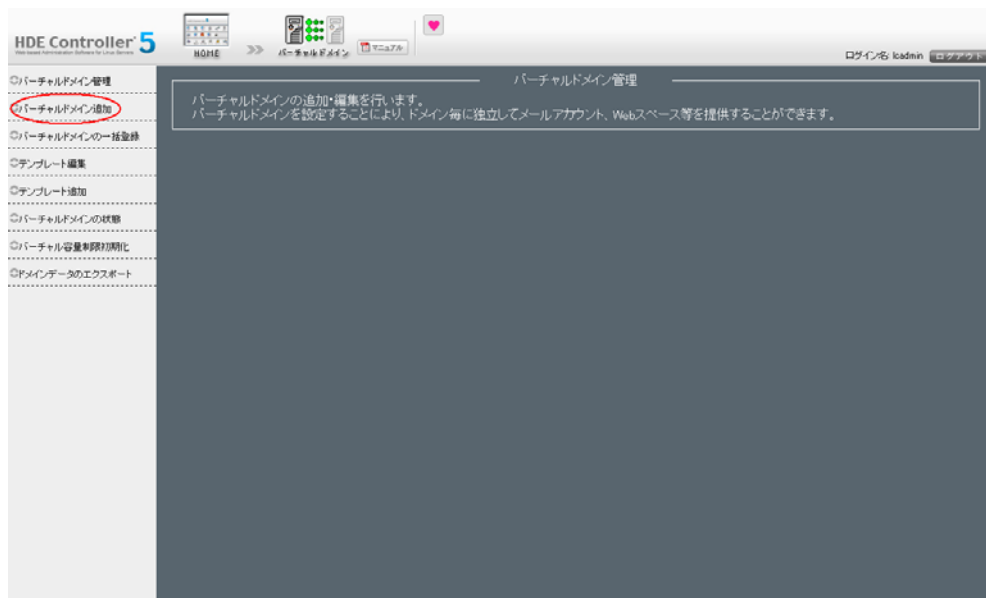
root、または、ladmin にて、管理画面へログインをします。

### 2-1/ バーチャルドメイン管理を選択する

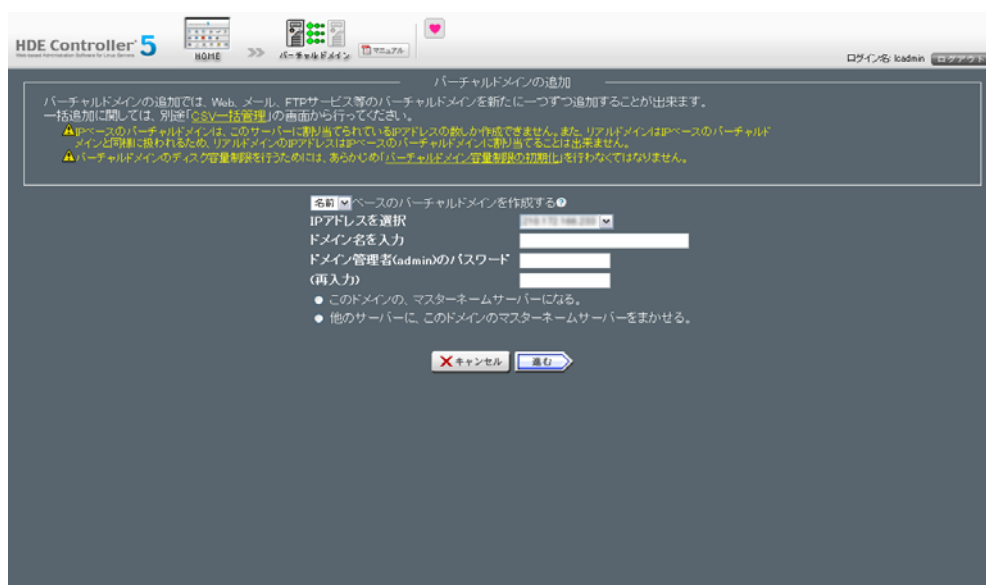


左記の「バーチャルドメイン」ボタンを選択します。

※ バーチャルドメイン管理画面が表示されますので、[バーチャルドメイン追加] を選択してください。



## 2-2/ バーチャルドメインを追加する



**IP アドレスを選択**：バーチャルドメインを割り当てる IP アドレスを指定してください。

**ドメイン名を入力**：追加設定するバーチャルドメイン名を指定してください。

**ドメイン管理者 (admin) のパスワード**：「admin@バーチャルドメイン名」ユーザーのパ

スワードになります。

下記ラジオボタンにつきましては、弊社ネームサーバーを利用する場合、「他のサーバーに、このドメインのマスターネームサーバーをまかせる。」を選択してください。

- ・このドメインのマスターネームサーバーになる。
- ・他のサーバーに、このドメインのマスターネームサーバーをまかせる。

### 2-3/ サービスの形態を選択する



### 2-4/ サービス選択を設定する

作成しているバーチャルドメインにて、利用を許可するサービスを選択してください。選択後、次画面へ進んでください。



## 2-5/ 運用メニューを設定する

バーチャルドメイン管理者である「admin@ドメイン名」に利用を許可するメニューを設定します。

「個人情報管理」にて選択した項目は、ユーザー追加時に利用を許可するメニューとして用いられます。

HDE Controller 5

HOME >> バーチャルドメイン >> ユーザー

ログイン名: kadmin ログアウト

運用メニュー 設定

ドメイン名: test.com

バーチャルドメインの管理者「admin」の権限と一般ユーザーを作成時の権限を設定します。「個人情報管理」「CGIインストール」「HDE Controller設定」以外のメニューは「admin」の直接の権限に反映されます。「個人情報管理」「CGIインストール」「HDE Controller設定」メニューは新規ユーザーを作成した時に利用されるデフォルト権限になります。それぞれ与えたい権限の項目名を反転表示させることで権限が有効になります。運用メニュー単位で権限の増減を行います(この場合は「全て」ボタンまたは「削除」ボタンをクリックしてください)。

バックアップ

- 今すぐバックアップ
- スケジュール収集
- バックアップファイルの復元
- スケジュール追加

CGIインストール

- CGI管理
- CGI制御
- CGIインストール
- CGI登録

ディスク使用容量制限

- 容量制限一覧
- 容量制限一括設定

バーチャルドメイン

- バーチャルドメインの状態

HDE Controller設定

- お気に入り

ログ管理

- ログ閲覧
- ログ監視

メーリングリスト

- メーリングリスト作成
- メーリングリスト管理
- テンプレート設定

個人情報管理

- メールパスワード
- 自動メール返信設定
- バックアップ/復元
- 詳細設定
- メール転送
- ログインパスワード
- ユーザーステータス

FTPサーバー

- 基本設定

メールサーバー

- エイリアス設定
- 宛先不明メール転送設定
- スプール容量制限
- スプール容量制限一括設定
- 送信者認証設定

アカウント

- アクセス権限設定
- アクセス権限一括設定
- アクセス権限初期化
- ユーザー追加
- CSV一括ユーザー登録
- CSV一括ユーザー保存
- ユーザー管理
- CSV一括ユーザー削除
- テンプレート設定

ユーティリティ(管理者用)

- ファイルマネージャー

ユーティリティ(一般用)

- ファイルマネージャー

セキュアWebサーバー

- ディレクトリ認証設定
- ディレクトリ追加
- ディレクトリ管理
- 基本設定
- 親と証明書設定

Webサーバー

- ディレクトリ認証設定
- ディスク使用量一覧
- 基本設定
- ディレクトリ追加
- ディレクトリ管理
- アクセス統計

ネットワーク

- ネットワーク情報の取得

戻る  進む

## 2-6/ 制限設定を行う

このバーチャルドメインにて、管理可能なユーザーアカウント数、作成可能なメーリング

リスト数、使用可能なメールプール容量、使用可能なディスク容量、使用可能な Web 帯域幅制限の設定を行います。

### 【ご注意】

管理可能なユーザーアカウント数につきましては、バーチャルドメイン追加時に、ドメイン管理者（admin@ドメイン名）、FTP 用ユーザー（ftp@ドメイン名）が自動的に追加設定されます。そのため、実際に追加設定できる数は、2 アカウント分を引いた数になります。

HDE Controller 5  
HOME >> バーチャルドメイン >> 設定

ログイン名: koadmin ログアウト

### 制限設定

このドメインの各種制限事項を設定します。作成可能なユーザーアカウントの最大数、メールリストの最大数と、ドメイン全体で使用可能なディスク容量を設定します。制限をかけたくない場合は、各項目のチェックボックスをはずしてください。

ドメイン名: test.com

ユーザーアカウントの最大数	1000
<input checked="" type="checkbox"/> メールリストの最大数	10
<input checked="" type="checkbox"/> メールプール容量	5000 MBytes
<input type="checkbox"/> Web帯域幅制限	kbps
<input type="checkbox"/> FTP転送速度制限(アップロード)	kbps
<input type="checkbox"/> FTP転送速度制限(ダウンロード)	kbps
<input checked="" type="checkbox"/> 最大ディスク容量	5000 MBytes
<input checked="" type="checkbox"/> シェルの変更を許可する	
<input type="checkbox"/> ログイン有効期限	2009 年 10 月 1 日

戻る X キャンセル 進む

## 2-7/ Web サーバーを設定する

設定しているバーチャルドメインにて、運用する Web サーバーの設定を行います。



セキュア Web サーバーポート番号:セキュア Web サーバーのポート番号を確認し、必要がある場合、ポート番号を変更してください。

https://バーチャルドメイン名 : ポート番号

- ※ セキュアWebサーバーポート番号にて、利用可能なポート番号は、[よくある質問](#)をご確認ください。
- ※ セキュア Web サーバーポート番号は設定後変更することができませんのでご注意ください。

## 2-8/ メールサーバーを設定する

メールサーバー名に、SMTP サーバー、POP サーバーとしてユーザーに指定させるホスト名を入力します。



## 2-9/ ネームサーバーへ追加するレコードの確認をする

表示内容を確認し、「設定する」ボタンをクリックしてください。

※設定するドメインのエクスポートファイルがある場合は、ファイルの指定をしてから設定してください。



### 3. バーチャルドメイン管理者での操作

管理画面（HDE Controller4.0）へのアクセス方法は、下記になります。

#### 3-1/ 管理画面へのアクセス方法（バーチャルドメイン管理者）

ウェブブラウザにて、下記のように指定します。

https://ドメイン名または IP アドレス:16590/

ログイン名:admin@バーチャルドメイン名

パスワード:バーチャルドメイン追加時に admin に設定したパスワード



ログイン後、上記メインメニューが表示されます。

初期状態で作成されるユーザーは下記となります。

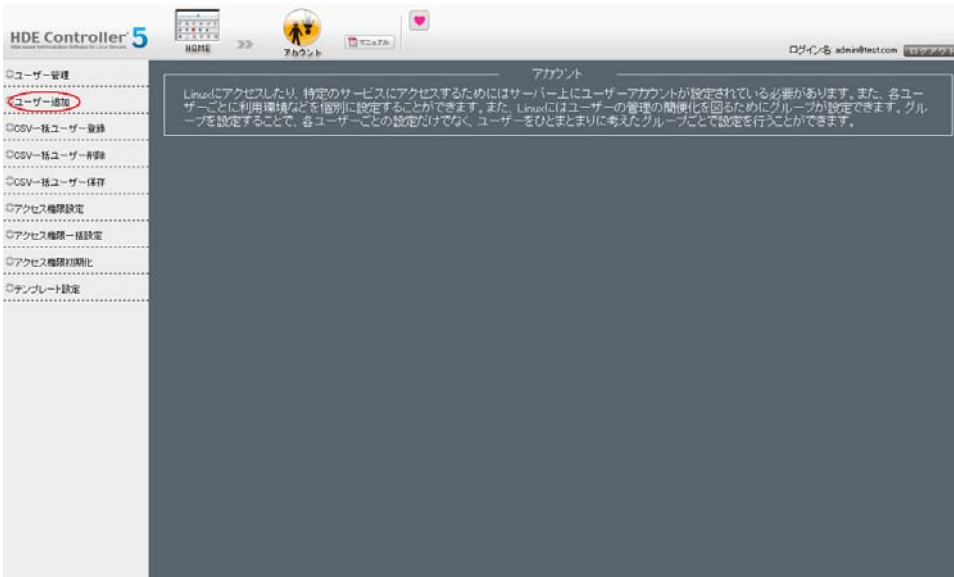
admin@バーチャルドメイン名

ftp@バーチャルドメイン名

#### 3-2/ アカウントの設定手順



メインメニューの [アカウント] ⇒ [ユーザーの追加] を選択します。



下記画面でユーザー名、パスワード等必要情報を入力し、[設定する] ボタンを選択し完了です。



ここで作成したユーザーで FTP でのファイルのアップロード、メールアドレスの利用が可

能です。

ftp アカウント名：ユーザー名@バーチャルドメイン名  
パスワード：上記アカウント名に設定したパスワード

ドキュメントルート（Web ディレクトリ）は、下記になります。

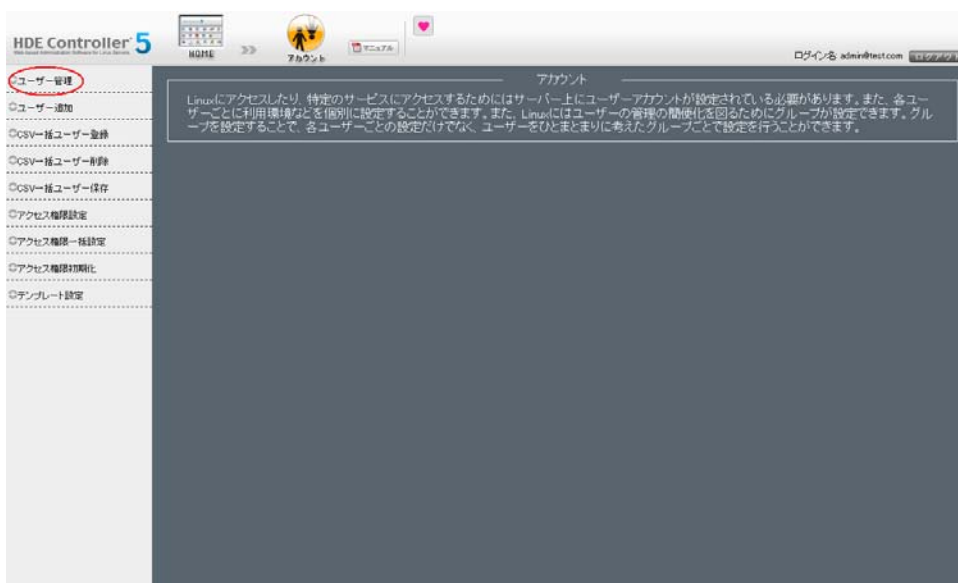
メインサイト： /var/www/html  
バーチャルドメイン： /home/levirtualdomain/ドメイン名/htdocs

※ ドキュメントルート（Web ディレクトリ）の変更方法は「**■ドキュメントルート（Web ディレクトリ）の変更方法**」をご参照ください。

### 3-3/ ユーザー情報の修正



メインメニューの [アカウント] ⇒ [ユーザーの管理] を選択します。



修正を行いたいユーザー名の「編集」ボタンを選択します。



表示されました下記画面にて、ユーザーのパスワード、メール転送設定、メールパスワード、制限設定等を行っていただくことが可能です。



## 4. バーチャルドメインユーザーの操作

管理画面（HDE Controller4.0）へのアクセス方法は、下記になります。

### 4-1/ 管理画面へのアクセス方法

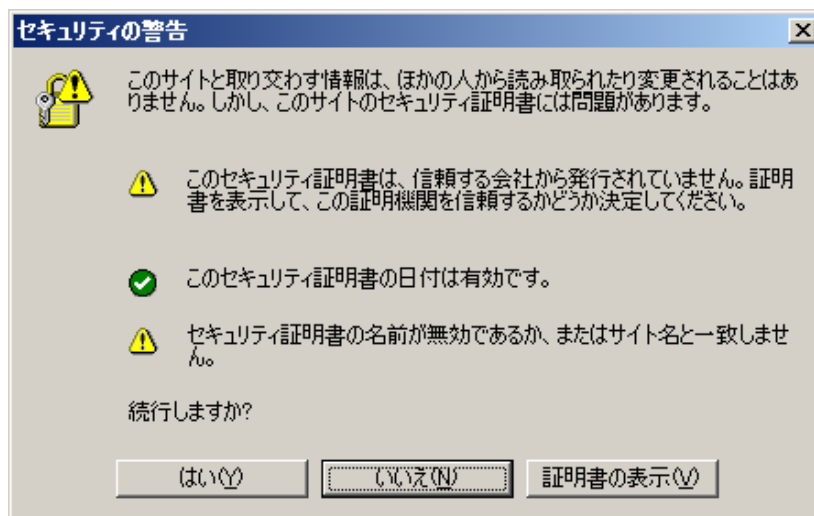
ウェブブラウザにて、下記のように指定します。

https://ドメイン名または IP アドレス:16590/

ユーザー名：ユーザー名@ドメイン名

パスワード：ユーザー名@ドメイン名へ割り当てたパスワード

※ 以下のような画面が表示されますが、暗号化による接続には問題ありませんので、そのまま「はい」をクリックして次へ進みます。



「個人管理情報」にて、バーチャルドメインユーザーの管理画面へのログインパスワード設定、メールパスワード設定、メールの転送設定等を行うことが可能です。バーチャルドメインユーザーのウェブディレクトリは、下記になります。

/home/lcvirtualdomain/virtual.com/users/user/public\_html

ブラウザにて、アクセスする際の URL は、下記のいずれかになります。

※ どちらかの URL を採用するかはバーチャルドメインの Web サーバーの設定に依存いた

します。バーチャルドメイン管理者の権限にてサーバーへアクセスをし、Web サーバーの基本設定を行います。(設定方法は、「バーチャルドメインユーザーのウェブアクセス数の URL 変更方法」をご参照ください。)

```
https://バーチャルドメイン名/~バーチャルユーザー名  
https://バーチャルドメイン名/user/username
```

## 5-1. Webディレクトリの変更方法(メインサイトのウェブディレクトリ変更)

各ドメインのウェブディレクトリは、サーバー管理画面より設定を変更することが可能です。

### 5-1-1/ 管理画面へのアクセス方法

管理画面 (HDE Controller4.0) へ root、もしくは leadadmin でログインします。

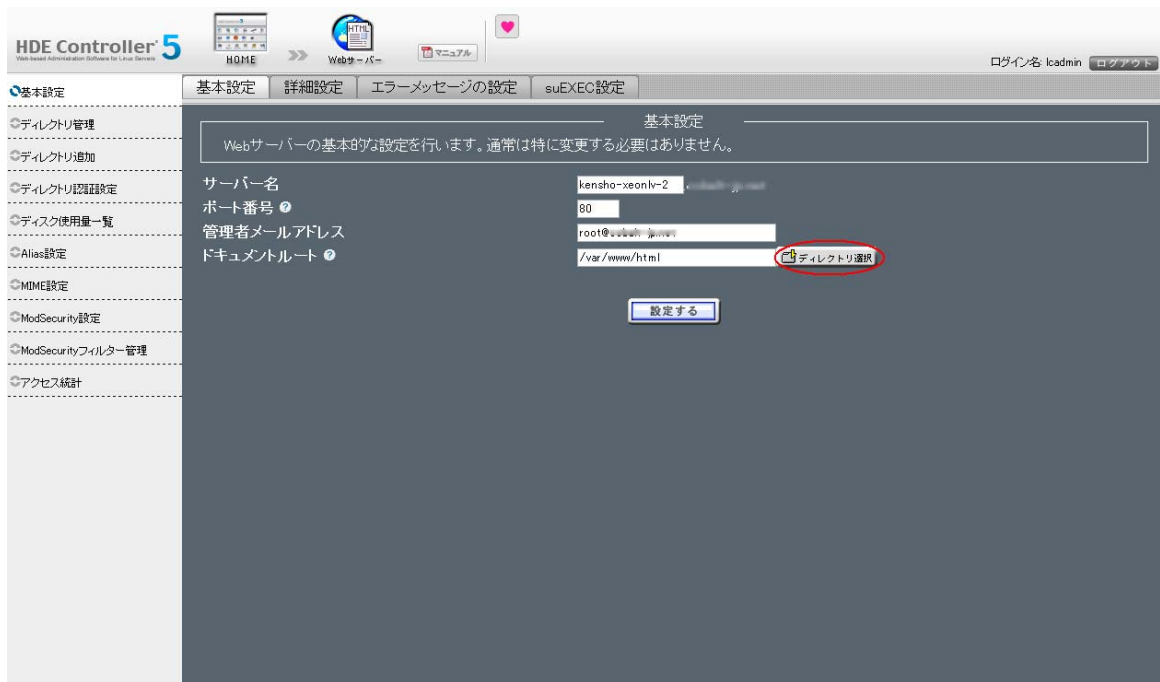
```
https://ドメイン名または IP アドレス:16590/
```



メインメニューにて **[Web サーバー]** を選択します。

### 5-1-2/ ウェブディレクトリを変更する

**[基本設定]** ⇒ **[基本設定]** タブにてドキュメントルートの **[ディレクトリ選択]** ボタンにてドキュメントルート (ウェブディレクトリ) を変更します。



### 5-1-3/ 変更後のディレクトリを指定する

新規ウィンドウにて変更後のディレクトリを指定します。  
選択したディレクトリ名が指定欄に入り、元の画面に戻ります。  
[設定する] ボタンを押し完了です。

#### ※ ドキュメントルートについて

バーチャルドメインのドキュメントルート（ウェブディレクトリ）は/home 配下となりますが、メインサイトの場合は、初期状態では下記となります。

/var/www/html

/var の配下にはログファイル等が蓄積されていきます。  
メインサイトのドキュメントルート（ウェブディレクトリ）は変更してご利用いただくことをお勧めいたします。

## 5-2. Webディレクトリの変更方法(バーチャルドメインのウェブディレクトリ変更)

管理画面（HDE Controller4.0）へのアクセス方法は下記になります。

### 5-2-1/ 管理画面へのアクセス方法

https://ドメイン名または IP アドレス:16590/

ログイン名 : root@バーチャルドメイン名

パスワード : root に設定されているパスワード



メインメニューにて **[Web サーバー]** を選択します。

## 5-2-2/ ウェブディレクトリを変更する

**[基本設定]** ⇒ **[基本設定]** タブ内のドキュメントルート内に、公開したいディレクトリに指定してください。



変更後のディレクトリを指定し、**[設定する]** ボタンで完了です。

## 5-2-2/ バーチャルユーザーのウェブアクセス時の URL 変更方法

ウェブブラウザにて、バーチャルドメインのウェブ領域にアクセスする際の URL は、下記のいずれかになります。

https://バーチャルドメイン名/~バーチャルユーザー名.  
https://バーチャルドメイン名/users/username

バーチャルユーザーのウェブアクセス時の URL は下記箇所にて、指定いただくことが可能です。

下記ユーザー名にて、管理画面へログインを行います。

管理画面（HDE Contoller4.0）へのアクセス方法は、下記になります。

https://ドメイン名または IP アドレス:16590/

ユーザー名：admin@ドメイン名

パスワード：admin@ドメイン名へ割り当てたパスワード

[Web サーバー]⇒[基本設定]を選択し、

[詳細設定]の[ユーザー領域の URL のタイプ]にてご選択ください。

[設定する]を選択いただき、有効にしてください。



バーチャルユーザーの Web 領域は下記のようになります。

/home/lcvirtualdomain/example.com/users/user/public\_html/

## 6. ログ管理

サーバー管理においてログの管理は非常に重要な項目となります。

各種ログファイルは `/var` の領域に蓄積されていくため、ログファイルの増え方が大きい場合は、不要なふるいファイルを保持しないように設定することも可能です。

HDE Controller ではログ管理（ログローテート）を管理画面上で容易に設定することが可能です。

管理画面（HDE Controller4.0）へ `root`、もしくは `ladmin` でログインします。

`https://ドメイン名または IP アドレス:16590/`

### 6-1/ ログローテートを設定する



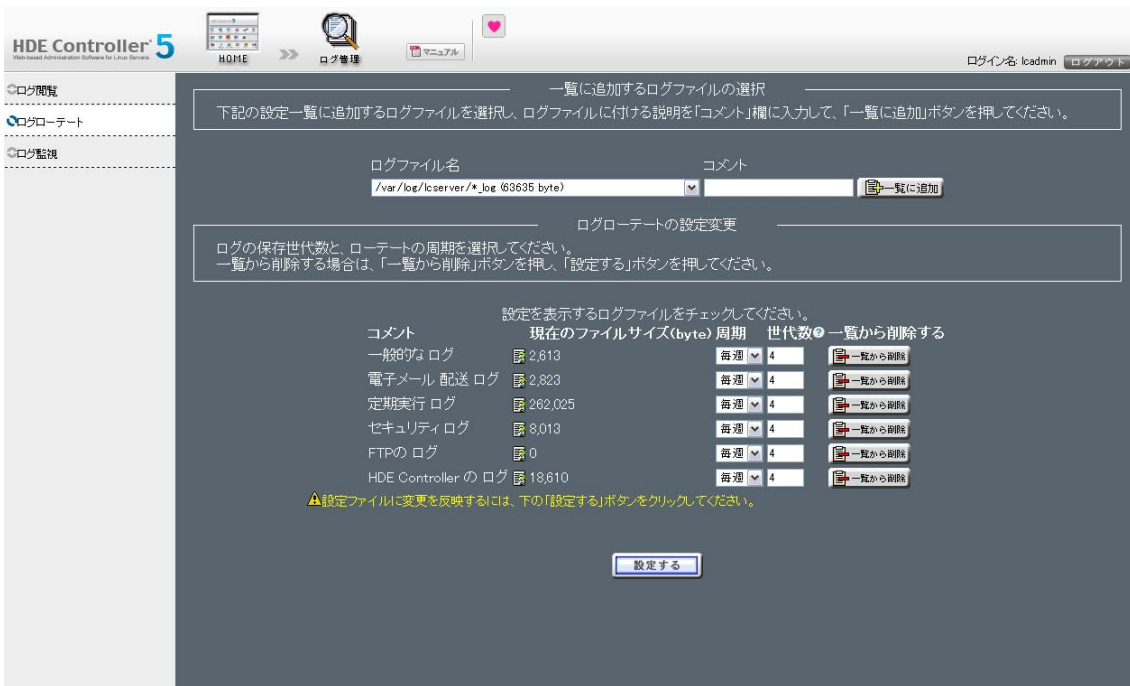
メインメニューにて**【ログ管理】**ボタンを選択します。

**【ローテート】**ボタンを選択してください。



## 6-2/ ログローテートを設定する

下記の画面にて各種ログのローテート設定を行います。



コメントの右側に表示されている、ファイルのアイコンにカーソルを重ねると、ログファイルの保存されているパスが表示され、確認することができます。

[一般的なログ]	/var/log/messages
[電子メール配送ログ]	/var/log/maillog
[定期実行ログ]	/var/log/cron
[セキュリティログ]	/var/log/secure
[FTP ログ]	/var/log/xferlog
[HDE Controller のログ]	/var/log/lc.log

周期：ログのローテート周期を指定します

世代数：指定した数のファイルを保存します

※ローテートされたログは新しい順に1から番号が振られていきます。

例) /var/log/maillog

世代数：3で指定した場合 maillog.1～maillog.3までの古いファイルを保持します。

※初期値では世代数：4となっています。